

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-39 結核検診事業				タイムスコード及び個別事業名				
	□支援部門				749	結核検診事業			
主管課	市民健康課		関連課						
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	市民の疾病予防と健康の維持								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	3,735千円	4,421千円		指標と評価				
	(国・県)	0千円	0千円		指標	検診受診者数			
	(負担金等)	0千円	0千円		評価	△			
	(一般財源)	3,735千円	4,421千円						
	人員配置数	0.1人	0.1人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	928千円	937千円		目標値	実績値			
	協働の パートナー	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 健診機関		20年度	-	667人		
事務事業 運営経費	総事業費	4,663千円	5,358千円		21年度	-	564人		
	市民1人当 りの経費	26円	30円		22年度	-			
	対象者1人 当りの経費	-	-		23年度	-			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						最終年度 (年度)	-	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 事業の継続的な実施。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 若年層の検診機会の確保。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 若年層の検診の啓発を行う。							
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	全国的に若年層の罹患率が増加傾向にあるため、引き続き検診の機会を確保し、結核の早期発見・早期治療につなげる。			評価結果	改善の必要性	検診機会の少ない若年層に対し、検診を継続し、結核の蔓延を防ぐ。		
B	無				B	無			
課長名		市民健康課長 相川 誉夫			部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子		